

あだたら

十一月五日(金)

薬師尾根登山道整備

報告 編集部



10時35分、樹氷坂上で刈払

今年も、積雪期前の十一月に安達太良山薬師尾根で登山道整備を実施した。安達太良山で一番利用者の多い登山道なので、草刈機械

を使っての「刈払い」作業は中々行えない。ロープウェイ運行最終の平日に実施している。今回の作業場所はロープウェイ山頂駅から樹氷坂上道標までの範囲。六台の草刈機械を使用

第397号
発行所 久米町
山形市 山形山部
あだたら 編集

●編集部連絡先
二本松市 内1-5-15
0243(22)4245
Fax可 渡辺 正

頂まで登り、今年二月の地震で落ちた、山頂祠の屋根を直した。また平成十四年から行われた登山道整備事業で産に貼り付けられた「浸食コントロールマット」、本来腐植するはずの物が今迄残り、足に引っかかって危険な状態になっている物が有るので、切り離して回収した。薬師岳山頂からは五葉松平を下山、冬



浸食コントロールマット 残骸の回収

季用の目印柱立て直し、ピンクテープも付けた。昨年設置した、梯子の状況も確認、頑丈な状態を維持していた。泥濘には土嚢袋設置した。平日とは言え、紅葉シーズン、登山者は多く、山の上まで草刈機械持ち込んだ作業に驚き、感謝の言葉を掛けていた。当日は不安定な天候、寒くは無かったが、全般に曇り空、日射しが出たり、電が降ったりした。それでも午後二時過ぎには、全員無事に奥岳登山口に下山した。会員十四名が参加した。

会員・ご逝去

報告 編集部



先月十七日午前十時過ぎに、会員の□□□□さんが

2004-09-26
僧悟 台登山道整備
青木 荘前

急逝された旨のメールが、娘さんから届きました。会長が問い合わせしたところ、既に家族葬で済んでいるという事でした。

□□□□さんは、二〇〇三(平成十五年)年八月の入会。最初の山行は岩手県の早池峰山でした(会報一八六号)。当時は郡山市桑野在住。翌月の市民登山下見・東吾妻山行、県北支部交流

会にも参加、登山道整備にも積極的に参加頂きました。最後の山行は今年八月の吾妻連峰縦走。その後体調不良の情報頂き、心配しておりました。昭和三十年生、六十六才でした。ご冥福をお祈りいたします。



五葉松平 冬季目印



直った山頂祠屋根



仙女分岐に土嚢袋



12時12分、薬師岳山頂で撮影、並べた2袋は、浸食マット残骸



14時過ぎ奥岳に無事下山



マット残骸回収した2人



刈払い作業

十二月十二日(金) 湯川溪谷丸札道標取り外し 報告 編集部



12時13分、吹雪の中小屋出発

二本松市都市計画課と当会は、十二日(金)、安達太良山湯川溪谷登山道の丸札道標撤去と閉鎖処理を行った。湯川溪谷登山道は塩沢スキー場を入口とし、勢至平登山道のくろがね小屋下「塩沢別れ」に至る、「屏風岩」や、「八幡滝」等の溪谷美を楽しめる人気の登山道。溪谷沿いなので、冬季は狭い沢添い道の凍結や、雪崩の対策として閉鎖される。当日は九名が参加

登山道沿いのサイン看板(丸札道標)の取り外し、荒竜岩下のアルミ橋板・屏風岩向の棧橋撤去を行った。入口の塩沢スキー場、出口の「塩沢別れ」には、冬季閉鎖の旨の看板が設置された。来年四月下旬に、登山道点検が行われた後、閉鎖看板は撤去される。実は、ここ塩沢別れの看板、「塩沢登山口」用だった。本来の此処の看板はくるがね小屋に預けられたまま



12時21分、「塩沢別れ」を閉鎖、記事にも書いておいたが、この看板は 塩沢登山口の物。

だ。□□荘で看板預けられたのだが、てっきり上の看板だと思って仕舞って、□□が担ぎ上げたのだった。来年春季の看板撤去の際には、スキー場登山口まで下げなければならぬ。塩沢スキー場登山口には□□荘の在庫を付けて貰っている。良く覚えておいて下さい。

当日の天気予報は、晴だが、正午頃雨雲が掛かることがあるという。その通りくろがね小屋到着時は曇りだったがやがて雨、昼食済ませて小屋出る頃には、雪となった。今年初めての吹雪の中での下山だ。最も一時的なもので、硫黄精錬所跡辺りでは又晴れて来たが、今年はくるがね小屋近くの湯川溪谷で、ナナカマドの赤い実が山頂稜線近くまで、特に目立っている。例年ならこの時期は紅葉も落葉し、白樺の白い幹だけが山肌に見えるだけだが、今年はその赤い固まりが沢山見えている。くるがね小屋で会った温泉会社の□□さんも「見たことが無い」という程。ナナカマドの当たり年なのかも知れない。また、くるがね小屋にも、今年から始められた、「にほんまつ菊手水」が飾られていた。



12時53分、荒竜岩橋板撤去



3番、馬返し、丸札撤去



山腹のナナカマド、稜線迄真っ赤



小屋の中の菊手水



14時25分、無事下山



13時23分、屏風岩向い棧道撤去

個人山行 十一月二十日

紅葉の終わった安達太良山

報告 □□□□



峰の辻にて、道標新しい

▼二十日締切の仕事も終り、十一月二十日、安達太良山へ。奥岳九時入山直後、小屋常連の三人下山して来る。昨夜泊まったとの事。「今日は何処まで」と、との間に「散歩」と答える。鳥川橋では大きなザツクの六人組、山頂に行き、小屋泊まりとの事。後になり先になり登る。天気も良く、体調も良い。峰の辻まで大丈夫と判断。箆山ルートに入る。いつもの所で昼食、峰の辻目指す。先日山の会で登山道整備の後、誰かが手入れ、又コースに赤布も

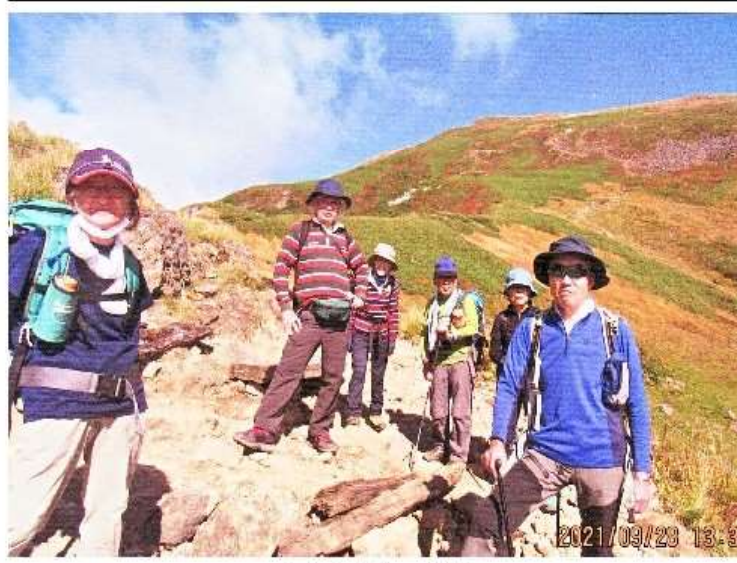
付けてあった。森林限界を過ぎ振り返るとナナカマドの実が赤く山を覆っているではないか。初めて見る景色。峰の辻には新しい道標。古いのはキレイに片してある。風も無く矢筈森まで足を伸ばしても明るい内に下山出来ると思ひ、矢筈森まで登り写真を撮る。山頂では百名山をやっているという六十才台のカップルに遭う。一緒に下山、途中急に何歳ですかと言われ、八十一才と答えるとスゴイとの返事。その後手を降り下山して行つた。後を追う様に

下山するが、だんだん離されて行く。小屋二時、久し振りで下山する。勢至平分岐まで来ると先程の百名山のカップルが休憩、出発するところ。下山中の見所はと言われ、遊歩道があるという、ありがたうと手を振り下山して行つた。◆ ◆ ◆ 時、奥岳駐車場へ下山。



9月12日、東吾妻

◆ ◆ ◆ 今年にはコロナで休日を選び、平日山行で紅葉楽しむ。▼九月十二日、景場平のロードウを見ようと東吾妻へ。ところが、景場平の沼の廻りの早い物は赤く紅葉が始まっていた。



9月28日、月山

▼九月二十八日、月山、二つのグループで行く。私達は高速、□□組は下と出発時間もコースも違うが、駐車場で見え、又も感動。それぞれ違うコースで紅葉を楽しんだ。▼十月三日、福島市民登山参加で浄土平、鎌沼の紅葉楽しみ。

▼十月十八日、妻と鬼面山と沼尻、白米の滝の紅葉。▼十月二十八日、大白森山、奥甲子の最高の紅葉楽しみ、観音沼、日暮の滝まで足延ばし楽しむ。▼十一月十五日、妻と今年最後の紅葉となるだろう、夏井川の紅葉と背戸岨廊を計画。夏井溪谷はモミジが朝日に照らされ最高の紅葉を見る事が出来た。背戸岨廊はトツカケの滝迄で山全体が入山禁止でロープが張られていた。トツカケの滝まで行き、二ツ箭山へとコースを変える。駐車場十一時半出発、沢コースを諦め、西尾根コースで張まで入り月山新道東尾根コース取り付けまで上り下山する。紅葉は今年はまだ残っていた。



11月15日、トツカケの滝



10月28日、大白森山



10月18日、鬼面山

山頂を心掛け、山行を楽しみたいと思っている。

◆ ◆ ◆ 編集後記 ◆ ◆ ◆ 三九七号 ◆ ◆ ◆ 今年の「福島県自然公園清掃協議会中通り支部二本松分会」から受託の「安達太良山」整備事業は、十一月十八日の「僧悟台登山道への階段設置作業」で無事完了致しました。安達太良山の二本松市側の、僧悟台、湯川溪谷、勢至平、薬師尾根各登山道の安全対策・通過支障の解消等、安全快適な登山を楽しめる事となりました。また来年も状況に応じた作業を行わなければなりません。皆さんのご協力をお願い致します。 ◆ ◆ ◆ 個人山行の記事下さい、メールだと有り難いのですが、手書きも歓迎、FAXも受信できます。

2021.11.03 事件・事故ファイル 【一時避難】 ▼2日午後7時ごろ、二本松市の安達太良山で下山中だった会津若松市の60代夫婦が道に迷い、119番通報した。二本松署、安達地方広域消防本部北消防署、あだたら山の会などが捜索し、同日午後8時40分ごろ救助した。(二本松署) (福島民報紙面)